

のびたファーム①

〈令和4年5月28日(土)〉

【目的】

児童に、野菜の植え付けから収穫、収穫物を使った制作活動を一連の流れで体験する機会を提供することで、農業に関する関心や理解を深める。また、期間を通して友達やスタッフと共に行動することにより、協調性・自主性や思いやりなどを養う。

【対象】

小学生

【参加者】

参加者33人 ボランティアスタッフ11人

【プログラム内容】

10:00	はじめのつどい	13:30	サツマイモの植え付け体験
10:45	田植えの説明	14:00	たまねぎといちごの収穫体験
10:55	田植え体験	14:30	おわりのつどい
12:30	昼食		

「はじめのつどい」



はじめのつどいでは、施設ボランティア「くわがた」が簡単なゲームを行いました。参加者はゲームを通じて、班のメンバーの名前を覚え、次第に打ち解けていきました。



「田植え体験」



子どもたちは田の中に足が埋まるのを「抜き足・差し足」で上手に進み、苗植えをしました。田の中に入るのに抵抗があったり、虫が苦手な子もいたりしましたが、次第に慣れていき、頑張って挑戦しました。



「サツマイモの植え付け体験」



サツマイモの植え付け体験では、いも苗を植える「向き」・「深さ」・「場所」を確認し、気持ちを込めて苗を植えました。子どもたちからは、「秋に収穫するのが楽しみ」、「早く食べたい」という声が多数ありました。

「たまねぎといちごの収穫体験」



たまねぎといちごの収穫体験では、食べごろな「たまねぎといちご」の見分け方を学びました。体験終了後は、研修室で一日の振り返りを行いました。みんなで一日の「感想」や「気づいたこと」を共有しました。